

Title	ビジネス・エコシステムを活用するITサービス構築モデルの提案ークラウドサービス企業の事例研究ー
Author(s)	番家, 賢一郎
Citation	
Issue Date	2018-09
Type	Thesis or Dissertation
Text version	author
URL	http://hdl.handle.net/10119/15444
Rights	
Description	Supervisor:内平 直志, 先端科学技術研究科, 修士 (知識科学)

ビジネス・エコシステムを活用する IT サービス 構築モデルの提案

—クラウドサービス企業の事例研究—

番家 賢一朗

先端科学技術研究科[知識科学]

北陸先端科学技術大学院大学

2018 年 09 月

キーワード：ビジネス・エコシステム，価値共創，IT サービス構築，クラウドサービス

情報通信産業の領域では，利用者の要件に応じて，サーバ，ストレージ，ネットワーク機器などのハードウェアや，ミドルウェアやアプリケーションソフトウェアなどのソフトウェアを組み合わせ，IT システムを構築・提供するシステムインテグレーションの形態が一般的であった．他方，ネットワーク環境の向上に伴い，例えばクラウドサービスのように，IT サービスとして不特定多数の利用者に提供する形態も台頭しつつある．

このような状況の中，IT サービスの提供者は，不特定多数の利用者が持つそれぞれの要件を満たす IT サービス構築に努めるが，それぞれの要件はサービスレベル，機能，価格などが相反する場合もあり，各利用者すべての要件を IT サービス提供者単独で応えることは容易ではない．例えば，従来のウォーターフォールモデルやスクラムなどもの開発手法や，PMBOK や ITIL などのベストプラクティスなどの既存の開発手法では，製品・サービスを構築の中心となる単一の IT サービス提供者が如何に効率良く IT サービスを構築するかという観点では参考になる．しかし，上記課題を解決するためには，これらの概念に加え，パートナー企業や利用者が形成するビジネス・エコシステムを活用し，個別要件に対してビジネス・エコシステム全体で柔軟に IT サービスを提供する必要がある．そこで，本研究では，クラウドサービス企業の事例研究を基に，ビジネス・エコシステムを活用する IT サービス構築モデルを提案する．

本研究が提案するモデルには，4 つのフェーズが存在する．はじめに，「提供価値明確化」フェーズでは，IT サービス提供者が利用者に提供する価値を明確化する．次に，「サービス可視化」フェーズでは，「提供価値明確化」フェーズで明らかになった提供価値を実際に稼働する IT サービスとして試作

し、想定していた提供価値と試作した IT サービスとの差異や課題を明らかにする。次に、これらの差異を解決するために、「ビジネス・エコシステム再編化」フェーズにて、差異や課題を解決できるパートナー企業や利用者を再選定し、正式な IT サービスを提供する前にビジネス・エコシステムの再編を図る。そして最後に、「サービス供給化」フェーズにて、IT サービスを提供すると共に、パートナー企業や利用者の育成や、ナレッジを共有する場や仕掛けを IT サービス提供者が準備し、ビジネス・エコシステム全体で柔軟にサービス提供が可能となる施策を実施する。

本研究が提案するモデルを活用することにより、IT サービス提供者は IT サービス企画段階から先進的な利用者やパートナー企業と協調し、それらの関係者が形成するビジネス・エコシステム全体で柔軟に IT サービスを提供するか検討することが可能となる。その結果、不特定多数の利用者がそれぞれ個別の要件を持つ IT サービスにおいても、IT サービス提供者は効率良く IT サービスの構築を進めることができる。